

日本病院ボランティア協会の総会と集いに出席しました

11月7日（木）大阪・上本町のたかつガーデン（大阪府教育会館）で開かれた日本病院ボランティア協会の総会と集いに出席しました。

午前中の総会に続き、午後の集いには、北海道から九州まで全国の病院ボランティアさん、職員の方々が集まりました。年に一度、情報交換ができる貴重な場です。

89名が会場に足を運び、また44名がZOOMで参加しました。

集いのメインイベントは、活動1000時間達成者の感謝状贈呈式です。今年は全国で60名の方が受賞され、私たちのグループでは火曜日の西谷さんが感謝状と記念のバッジをいただきました。

講演は大阪ボランティア協会の早瀬昇理事長のお話でした。

病院ボランティア協会は今年、創立50周年で初期からをご存知の早瀬氏がユニークを交えて協会の成り立ちなどをお話されました。

また「コロナ渦における活動の工夫について」というテーマで、札幌医科大学附属病院とKKR札幌医療センター、2つのグループの事例発表がありました。コロナ渦は各家庭で患者さんへのお誕生日カード、クリスマスカードを作成して配った、ボランティアルームに手指消毒、マスク着用のポスターを貼った、再スタート時には入院患者さんが楽しみにしている図書の貸し出しから始めた、などでした。

その後は、5、6人づつに分れての情報交換です。病院でのボランティアという共通の活動を通して、とても楽しいコミュニケーションの時間です。

それぞれのグループの特徴や悩みを話し始めると「ウチのグループではね・・・」「へっー、そうなの？ 私のグループではね・・・」と盛り上がり、活動のヒントをもらうこともよくあります。

やはり共通の悩みは、ボランティア不足と高齢化でした。話は尽きませんが、来年の再会を約束し、最後は恒例の「ひとりの手」を全員で合唱し閉会となりました。

